

いのちの委譲 いじょう — 設齋供養 せつさいくよう 供養に應える くようこた — (三版)

御齋を受けるは敬い享ける おとき う やま 頂戴する ちようだい

ご飯を食べるは身心を繋ぐ はん た いのち つな

敬い享けて繋がる生死 うやま う つな いのち 頂きます いただ

自分の為など限りは出来ぬ じぶん ため かぎ で き

食べねば成らぬ自生なり た な いのち

食べるばかりを貪らず た むさぼ

譲り受けたる他生を想う ゆず う いのち おも 感謝する かんしゃ

共に生きたる世間を観ず とも せけん かん

供養を受けるに慎み念う くよう う つつし おも 度を過ぎない ど すぎ

受け継ぐ大事勿体ないと う つ いのち もつたい 無駄にしない むだ

皆につとめる尊さ励む みな とうと はげ

いのちの委譲有り難く いじょうあ がた 感応 継承 かんのう けいしやう

何と報いん我らが道に なん むく われ みち 報答する 撰衆生 ほうとう しやうしゆじやう

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文